

---

# 幻奏

螺威

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

幻奏

### 【Nコード】

N1434C

### 【作者名】

螺威

### 【あらすじ】

仁と子供たち五人ののんびりな日常。小さな幸せのおはなし

幻奏。

それは幻を奏でる音。

その音は、幸せの奏で。

その家に住む仁は、家の柱に座って晴れた空の光を浴びていました。

その光を浴びてきらきら遊んでいるのは彼の子供たち。

男の子二人、女の子二人。

草の上をきゅあきゅあ言いながら走って走って、楽しそうに。

紫の長い髪の子が邑李

水色の髪を小さく一つに結った男の子は泉李

元気よく紅と橙の髪を揺らして走っている男の子が瑠李

笑いながら端の方へ逃げているのが白髪の子、諳李

みんなみんな楽しそうにきらきら、きらきら。

そんな子供たちを見るのが仁の至福の時。

何事にもかえがたいモノ。

くす、と小さく笑う仁の隣にもう一人の子供。

ストーン、と仁の隣に座る黒髪の男の子、咏李。

いつも仁の傍に居て、口数がとても少ない上、笑った事もない彼。

彼は少し難しい子で、哀しい事をいっばい知っています。

仁でさえ最初嫌われて拒まれて触らせてさえくれませんでした。

けれども、

「……………」

ことん、と仁の肩に小さな重み。

日の光りにあてられて咏李がうとうと。

その重みが嬉しくて嬉しくて。

毎日この幸せが続くようにと、切に祈り、護っていつかと思つので  
す。

幻奏。

それは幻の音。

一人一人を幸せにと

あなたは一人ではないよと

全てを受け入れさせてほしいと

優しい願いを綴った譜面

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1434c/>

---

幻奏

2010年12月10日05時39分発行